



第2部 確保策

②

新卒採用へ知恵と工夫

きる人材を確保するためだ。

ける。本音を聞き、本当に花満で働きたいかどうかを見極める。長く活躍で社に見せ方を要しないとい

採用環境が厳しくなり、特に中小企業は優秀な人材確保が難しい。同社では午

手心えを感じている。経団連の指針に基づき、来春の新卒採用の会社説明会が3月に解禁される。しかし企業は、既に動いている。就職情報会社マイナビが1日、広島市で初めて開いた「業界研究フェア」は学生約1300人で行った。学生の個人情報集められないが、49社が業務や福利厚生をアピールし「前哨戦」の様相だ。

「専願」で辞退減 内定者の辞退を防ぐことも多くの企業で課題となっている。同社は2013年第1志望の学生を対象にした「専願」日程を設けた。辞退者は例年3〜5人。かつては内定者30人のうち10人が辞退した年もあったが今はほぼゼロになった。専願は一般日程より約1カ月早く実施する。「学生側も学業に専念できるメリットがある。入社したいという本気度の高い学生を迎えたい」と宗貞執行役員。間もなく就活本番。人材確保に向け、知恵と工夫を重ねる企業の競争が幕を開ける。(山本和明)

本音聞き見極め

内定を何社からもらっているのか。花満は第一志望なのか。わざと赤信号で停車するよう速度を抑えながら、面接を終えてリラックスした学生に問い掛

学生送迎やCM制作



学生約1300人が訪れた業界研究フェア。各社は工夫を凝らし、人材確保を目指している。1日、広島市中区

ひとネット

「関西に流れていた需要を取り戻したい」と話すのは、メッキ加工の光洋金属防蝕(下松市)の清見原和則社長。鋳造部品を薬品に浸し、硬度などを高める「無電解ニッケルメッキ」の売り込みを強めている。洗浄や自動メッキの設備を導入。半導体製造装置の土台など大型部品に対応するメッキ槽も構えた。「高温のメッキ液に近づく必要がなく安全。手間も省ける」。「大型メッキは西日本で年1億円分の需要がある。その半分は受注したい」(桑田勇樹)

パウチ容器の飲料製造へ

アシードHD 栃木の工場に新ライン



飲料製造などのアシードホールディングス(HD、福山市)は4月、パウチ容器の飲料製造を始める。ゼリーやスポーツ飲料向けのニーズが高まる中、相手先ブランドによる生産(OEM)に加えてオリジナル飲料の商品化も目指す。

地場商品 海外に売り込め

広島で商談会 食品や酒の45業者PR



中国地方の食品や日本酒を海外のバイヤーたちに売り込む商談会が20日、広島

アテンザワゴン 改良型初公開へ

マツダは3月6〜18日にスイス・ジュネーブで発表する。

外装などを改良したワゴンタイプのアテンザ。自動車ショーで、外装などを改良したワゴンタイプのアテンザを世界で初めて公開する。

九州 3日間

佐賀特別編

「或る列車」

GW シンガポール

広島⇄シンガポール直行定期便就航!

ゴールデンウィーク 広島空港発着 2名様から催行保証!!